

## “意識”することの大切さ

校長 西田和弘

あっという間に？夏休みが終わりました。1学期の終業式に子どもたちに夏休みの有効的な時間の使い方の話をしました。すべての人に与えられた時間は1日24時間で変わりません。その時間をどのように使うかは、本人次第であるという話です。

この夏休みで子どもたちは、確実に成長しています。その成長の領域は、それぞれ違うと思います。「勉強をがんばった子」「部活をがんばった子」「新しいことにチャレンジした子」「精神的に成長できた子」など様々です。

このような何かに頑張れた子の共通することは何だろうと考えてみました。彩和学園のめざす子ども像は「今と未来、社会でいきる自分らしさを～挑戦～ ～継続～ ～共生～」ですが、その目標の中の、特に「意識する」ことを「継続」できた子が、自身の目標に近づけ成長できたのではないかと考えています。つまり、何かを手にするためにはそれを「継続」して「意識」することが大切だということです。なぜなら、意識することで自分自身の目標を明確にできますし、その意識を継続することで、自分自身の行動を変化させることができます。その変化した行動を継続することで習慣化され、よりよい結果が生み出されると考えています。

さて、9月の初めは子どもたちが精神的に体調を崩す時期であると言われていています。宿題ができていなくて学校に行きたくないとか、友だちに会いたいけれど何となく学校に足が向かないなど、少し気持ちがしんどくなる時期というものです。この状態は誰しもが感じる「自然な反応」です。もしそんな気持ちになった時には、周りの大人の人や友だちに声をかけてみてください。

また、われわれ教職員は、子どもたちからのSOSを見逃さないためにも、文科省が示している【TALKの原則】を再確認し、意識した子どもとのかかわりを実践していきたいと思えます。

“**Let's Try!** 実践躬行 **MEIJIKE**” を合言葉に！

彩和学園 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つながる「共生」～